

設 立 趣 旨 書

日本は、国土の7割が山林であり、温暖で降水量が多く、世界の中でも珍しい山紫水明の豊かな資源に恵まれた国です。そして、山林と平野部の境界に位置する中山間地域には、その自然資源を利用して持続可能な生活を営む「里山」と呼ばれる農村コミュニティが存在します。

しかしながら、現在、都市への人口流出によるコミュニティの高齢化と就農者の急激な減少により、里山の荒廃が加速しています。里山の荒廃は農業の衰退だけでなく、野生動物による農作物被害や人的な被害の増加、降雨の涵養機能の低下、生物多様性による豊かな自然環境や日本の原風景である農村の景観の破壊に繋がります。私たちは、この危機的な状況を少しでも回避するために里山の維持保全活動を行なっていますが、今後さらに重要になると予測しています。

また、多くの人が「里山はほっとする場所」と感じるように、日本人共通の「ふるさと」の象徴であり、国のかたちをつくる大切な場所だと言えます。したがって、里山の維持保全は国土保全と同義と捉えて良いと思います。

以上の理由で、私たちは里山の維持保全の重要性を伝え活動してきました。

私たちの目的は、農産物生産、農産物の二次的活用、観光資源としての里山の活用、一般市民への里山に関する知識の普及、里山における新しい産業の創出を行い、農村と周辺部からの関係人口が協働することによって里山の再生を促進させ、ひいては日本の国土、環境、景観の保全に貢献することです。

そのためには、農業などの産業の喚起、移住促進、観光PR、景観保全のための管理作業等が必要になりますが、広大な面積の中山間地域においてこのような活動を行うに際し、国からの支援だけでそれらを実行するのは十分ではなく、個人では難しい各種契約を締結する必要が生じることがあります。そこで、社会に認められた非営利活動を行う法人格を持つ団体を設立すればそのような問題を解決することができ、尚且つ私たちの活動が世間に認知されやすくなることで賛同者が増え、理解や支援を得られることにより、目的を達成できるとの考えに至りました。

よって、ここに特定非営利活動法人を設立し広く展開していこうとするものです。